

京都革新懇

No204 会員ニュース 2009年 7月25日 発行

日本の平和と民主主義・革新統一をめざす京都の会
<http://www.kyoto-kakusinkon.com>

〒606-8397

京都市左京聖護院川原町4-13 教育会館別館

TEL/FAX共用 075-724-8270

全国革新懇の 3つの共同目標

- ①日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

全国総会・全国交流会は10月24・25日に奈良市で開かれます。

ホームページ

地域・職場革新懇の活動紹介
会議・交流会・講演会などの紹介
ニュース・出版物紹介

<http://kyoto-kakusinkon.com>

府政の障害を取り除く仕事を私の医師としての専門分野は、リハビリテーションという分野です。いま京都府や、或いは、日本全体を見て、制度や政治のしくみの中で様々な障害が起こっております。狭い意味での医療という枠を超えて、

来春の京都知事選挙で皆さんと一緒に新しい京都府政をつくってきたいと思えます。どうかよろしくお願ひ致します。
3日前に記者会見を行いました。府民の皆さんへの呼びかけ「ひと・いのちが大切にされる京都府をつくらう」と言うことを私は呼びかけました。

門祐輔さんの決意

ひと・いのちが大切にされる 京都府をつくらう



門 祐輔さんプロフィール
信和会京都民医連第二中央病院
院長・信和会理事長
日本リハビリテーション医学会専門医・
指導責任者。同医学会近畿地方会幹事
日本神経学会神経内科専門医、
日本内科学会認定内科専門医、
京都革新懇常任世話人を
歴任 07・08年

この府政においても、日本の国政においても障害を取り除く、広い意味でのリハビリの分野で頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

地域の特性を生かして

地盤産業は地域により異なります。特に京都府は北から南、南から北まで非常に長くそれぞれの地域毎の特性があります。食の安全を考えれば農業をはじめとする第一次産業、京都のものづくりの伝統、これも大きな財産です。そしていま、CO₂削減環境問題は叫ばれる時代になって新

しい産業を創っていくこれも大切です。こうした様々な分野の政策が、医療・福祉、社会保障分野を基礎に教育の充実などと合わせて、それこそきちつと作っていく、そういう典型をこの京都府でつくりたいと思います。

本当の地方分権とは

京都府だけでは出来ない分野もあります。当然あります。国に対してきちつと働きかけていくということが大切です。そして京都府の一番基礎となる市町村と協力をしながら、きちつとこうした政策が出来るように市町村への援助、国に対する注文をつけながら、この京都府政を運営していきたいというふうに思います。それが本当にいま求められている地方分権だと思います。

京都府がリーダーシップを発揮

様々な方々に要求、それをしっかりと聞き、社会保障の分野、医療・介護様々な分野、しっかりと結びつけながら、また専門家の方の声も聞いて政策化し、マニフェストとしてきちつとまとめあげて、あらためて皆さん方にご披露させて頂きたいと思えます。

総選挙

自公政権 破たんと終えん
希望のもてる・安心できる「新しい政治」を

民主府政の会第三回全体会議

森川明代表のあいさつ



本日開かれました、常任幹事会で門祐輔さんを来年の京都府知事選挙の候補として全員一致で推す事を決めました。

中村和雄弁護士は水俣病裁判の闘争を共に闘った熱い信頼関係にあるという関係から、門祐輔さんに「来年の知事選挙に府民の代表として出て欲しい」と強く要請致しました。

門祐輔さんは配布した資料にありません通り、単に医者個人として素晴らしいというだけではありません。各医療機関の連携を取って府内の医療機関を充実させる運動の推進役を果たして来られました。

また医療分野以外でも、例えば民医連の平和塾を主催をされる。或いは反核医師の会、また革新懇、こついう所でも重要な役割を果たされています。平和を守るということ、人としてのちを守ることにあい通じるということとを位置づけておられるのではないかと思います。

こつした中で、私たちは医療や社会保障制度が崩壊している中で、府民のいのちと健康を、そしてくらしと平和

を守る、そのような運動の先頭に立つにふさわしい、最適な人であると確信をしたからであります。皆さんにも自信を持って紹介させて頂きたいと思えます。

門祐輔さんが私たちの要請を正面から受け止めて頂いて、そして困難な状況の中で、熟慮を重ねられました。その結果この度、決意を固められ、先日記者会見をされ、そして府民への熱い訴えを発表されました。先ほどの常任幹事会はこの訴えを受けて全回一致で推薦を決めました。この全体会議で門祐輔さんの決意も表明をさせて頂きます。そして各界の方々の推薦の言葉も聞かせて頂きます。

これによって会全体としても、来年の知事選挙、門祐輔さんを先頭に奮闘していくという方針を確認し合いたいと思います。前々回は私が、そして前回衣笠洋子さんが、皆さん方の夢の実現をさせるといことは出来ませんでした。来年の春こそ門祐輔さんを先頭に府民のいのちとくらしを大切にすという府政を実現しようではありませんか、本日の全体会議がそのためのスタートとなるように訴えさせて頂いてごあいさつを終わります。

京都革新懇は七月十六日の拡大常任世話人会で門祐輔さんの推薦を決定し、来春の知事選挙勝利めざして全力を上げる事を確認しました。

全国総会（10月）に向けて

一三〇〇人の京都革新懇を

京都府民のみなさん

自公政権の政治的行き詰まりが深まり、国民生活は厳しさを増しています。国民各層・各分野では新たな積極的な運動が展開されています。

世論調査では、国民は古い政治の枠組みではなく希望、展望の持てるルールある経済社会、自主自立の平和外交を求めています。

消費税増税、改憲と海外派兵、国会議員の比例定数削減などを掲げる二大政党に、総選挙では「どちらにも入れたくない」という声が強まっています。

このような情勢のもと、平和・民主主義・生活上の三つの共同目標を掲げ国政革新で民主的政権をめざす革新懇運動への期待が高まってきました。

全国革新懇は一九八一年五月二十六日に誕生しました。

1980年のはじめ、いわゆる社公合意で社会党は日米安保条約・自衛隊容認、日本共産党排除の政権構想を結んで革新に背を向けました。

こつした政党の動向に左右されない、政治革新の目標で思想・信条の違いをこえて力をあわせる統一戦線運動が決定的に重要になりました。全国革新懇はそのことを先見の目に見抜いた多くの団体・個人が、政党として革新の立場を堅持する日本共産党とともに生みだした組織です。

革新の伝統の地・京都でもいち早く地域・職場で革新懇の結成が進み、現在、多くの地域・団体が加入し、谷内口浩二さん、森川明さんに代表をしていただいています。会員や革新懇ニュース読者は現在1100人以上となっています。

今日、この革新懇運動を質的にも量的にもより高い段階に発展させることが求められています。このことが希望ある日本をつくる保障であり、きたるべき政治戦でも展望を切り開くものです。

ぜひあなたも、私たち京都革新懇にご参加いただき、一緒に日本の政治革新の運動にご参加いただくよう、心から訴えます。

二〇〇九年七月十六日

京都革新懇常任世話人会

平和・民主・革新の日本をめざす京都の会（京都革新懇）への加入の訴え

安齋先生インタビューを前号から引き続き、後半を掲載します。(抜粋)



核廃絶を願う運動の 今日的意義について

不平等条約

NPT条約というのは、核兵器を持つている5カ国は、条約6条によって、「核兵器をなくす誠実な努力をしなければならぬ」と書いてあります。ところが「核兵器国」の核兵器廃絶への努力というのが、なおざりにされてきて減るところが、七〇年代、八〇年代は逆に核兵器が増えるような核軍備競争が行われたわけなんです。

ブッシュ政権の下で、これが反故にされました。その時にまさに核兵器を無くす事を目指す大統領を迎えたということは、それなりに大きな意味を持っていると思います。この機を大いに活用したほうが良いと思います。

単純なことではない

勿論、核兵器と言うのは一大統領が政策転換を宣言したからなくなるほど単純なものではなく、核兵器に乗りかかって飯を食って来た核軍需産業の人たちがあるわけなんです。

アメリカの軍需産業というのは、巨大ですからね、一つの会社が国防省と1兆円規模の契約を毎年結ぶわ

けですから、核兵器産業も含めて、アメリカの産業構造の中に定着しているわけです。

国際社会への約束は重みが

非核産業に転換させていくのは、口で言うほど単純にはなくて、それは構造転換をかなり具体的に進めていくプログラムを現実的に組んでいく必要がある。オバマ大統領は「自分が生きている間に出来るかどうかかわらん」と言うことも一部で言いながら、しかし方向として核兵器の無い世界を国際社会に約束をしてることの重みは大きいですね。

核兵器持つ国は9つ

残念ながら核兵器を持つている国は9つあってNPTに入っていない。自分たちだつて持つ必要があると言うのはある種、論理的には当たり前と言えは当たり前でアメリカのよ

核保有国が率先して

核兵器を持つている国が、率先して核兵器をなくすための具体的な政策に入つていって実行するつていうことなしには、究極的にはNPTの枠内で核兵器作つている国に国際世論の名において核兵器を断念させることは無いんです。

日本がイニシア發揮を

日本という核兵器実践使用された

唯一の国の被爆者達、被害者が核戦争とはどういうものか？益々世界にアピールすると同時に、この国の代表たる政府が国際社会で非常に重要なイニシアティブを取る必要がある。アメリカに従属していて思ったことを言えない状況があることを克服する必要があります。

ベトナムでも核使用計画？

アメリカは核兵器を使う予定があった。実際にベトナム戦争で航空母艦の遠洋に行つてB43という水爆を積んで戦地に攻撃に行つていたんです。

核持込は自由にされていた

日本が、非核三原則というのを持つていながら、非核三原則が何んであるかと言う事を知らない人が増えていると言つ事です。

一番忘れるのは第3原則の「持ち込ませず」という原則を忘れるつてわけなんです。一番破られて来たのが、この「持ち込ませず」という原則なので、知らないんだから破られていることにならないわけです。

政府の動きも監視を

政府も監視していく、そして政府が唯一の被爆国にふさわしい国際的なリーダーシップを發揮するよう監視し励まし、やれと言つ要求を突き付けていくことなしに2010年そういう働きが出来ないのではないかと心配しているんです。54年のビキニ事件以来、全国規模の反核運動というのは非常に根強く続いてきて

いる。世界に誇つて良い一つの財産ですよ。

世界も大きく変わりつつある

反核運動は日本原水協などの人々を中心に毎年開かれて、そこには、一般市民、NGOの人々に加えてマレーシアとかエジプトとかメキシコとかキューバとか、「核兵器はなくすべきだ」と国連でも主張している国々の代表も来るようになったし、最初は自分の発言が済むと帰つてしまつ付き合ひだったが、この頃は、国際会議からずつと最後まで参加する。去年は国連の代表まで来た。益々NGOとGOが共同して核兵器をなくすという人類的課題を取り組んでいくという風潮が盛り上がりつつある。

アメリカ大統領も核なくすと

そこに最強の核軍事国家であるアメリカの大統領が核兵器無くすと言出した。だから広島、長崎市長中心にやつているメイアンドピースという平和市長会議の2020年の核兵器無くすと言つ目標とでも国際社会に大いに核兵器廃絶の嵐を巻き起こしていくのが来年ではないかと。日本は世界の反核運動の役割を期待されるし、また、果たさねばならない。極めて重要な年にあると思ひます。

安齋育郎 立命館国際関係学部教授
国際平和ミュージアム名誉館長

安齋先生インタビュー全文については、京都革新懇ホームページに掲載させていただきます。

地域革新懇からの報告

右京革新懇 総会を開催

京都右京革新懇総会は、昨年6月25日に、再開総会・憲法を生かし「なくせ貧困」右京革新懇の集いを行い1年になりました。

6月28日(日)右京ふれあい文化会館で、2009年度総会を開催しました。

「今、革新懇運動の定番」の学習・懇談会を行い、「革新三目標(生活、民主主義、平和)から見た、内外情勢保守層の変化と私たちの課題を、長砂實代表世話人からの話題提供と、新しい政治へ。京都革新懇運動の「確かな前進を」めざして、野口昭一事務局長から話され、参加者の懇談を行いました。

この一年の活動総括、月例懇談会の実施・会計報告・激動の2009年度方針・右京革新懇運動の拡大強化の活動方向を「継続は力」「右京の平和・民主・革新の運動にふさわしい懇談会にする」など討議し、新たな決意をしました。



右京革新懇の総会

南区革新懇が総会

南区革新懇は7月7日(日)京都市南区の京建労働会館で、清水良一代表の開会挨拶に続いて前半の「平和の集い」を開催。被爆者中野士乃武さんは長崎での被爆体験を生々しく語り、講師の京都原水協事務局長小杉功さんは「被爆国日本が2010年NPT国際会議に向けて核廃絶運動を飛躍させる必要性」を強調しました。

後半は「第二回定期総会」を開き、昨年の創立からの取り組みをまとめ、当面、総選挙勝利と府知事選挙勝利、核廃絶運動の取り組みを強めることを確認しました。

自分らしく生き

楽しく働き 暮らせるために

「サンサン革新懇第十三回定期総会」三菱サンサン革新懇は6月20日(日)午後1時半～4時、京都市右京区で十八人参加で第十三回定期総会を開催。

「職場や政治・社会の問題を本音で話し合う草の根運動を続けて十二年目を迎えました。今年も一人ひとりが燦爛(サンサン)と輝いて生きられる世の中をめざします」という呼びかけで、職場の実態や派遣社員の生活と権利を守る闘いを交流。

平和運動への参加、淡路島への旅、ハイキングなど一年間の行事報告がされ、すでに五〇号まで発行されている「サンサンかくしんこんニュース」を充実していくことなどを確認。決算・予算を承認し十一人の世話人を選出しました。



品川講演冊子
普及・活用をお願いします。1部 200円です。

<< 各団体などの日程 >>

- ・日本母親大会 7月25日～26日 府立体育館 立命館大学
- ・平和のための京都の戦争展 8月4日～9日 国際平和ミュージアム
- ・原水爆禁止2009年世界大会 8月7日～9日 長崎市
- ・総選挙公示 8月18日
- ・城陽市長選挙告示 8月23日
- ・総選挙投票日、城陽市長選挙 8月30日
- ・京都総評第70回定期大会 9月5日
- ・民主府政の会「府民のつどい」 10月9日P7～ みやこメッセ
- ・うたごえ祭典 10月23～25日 京都市内
- ・全国革新懇「総会・交流集会」 10月24日～25日 奈良市
- ・中小商工研究集会 10月31日～11月2日 シルクホール・中企会館
- ・憲法集会 11月3日

京都革新懇 平和宣伝

日時... 2009年

8月6日(木)

- 以下の3ヶ所で開催
- 京都タワー前 午後2時半～3時
- 四条大宮 午後3時20分～3時50分
- 熊野神社 午後4時20分～4時50分

○各地域でも宣伝行動を